

要 旨

試験委託者

環境省

表 題

1, 3-ジメチルナフタレンのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する繁殖阻害試験

試験番号

A 0 0 0 4 7 3 - 3 G

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドラインNo. 211「オオミジンコ繁殖試験」(1998年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： 1, 3-ジメチルナフタレン
- 2) 暴露方式： 半止水式 (毎日試験液の全量を交換)
水面をテフロンシートで被覆
- 3) 供試生物： オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴露期間： 21日間
- 5) 試験濃度 (設定値) :
対照区, 助剤対照区, 0. 0200, 0. 0530, 0. 140, 0. 380, 1. 00 mg/L
公比：約 2. 7
助剤濃度一定：16 mg/L (ジメチルホルムアミド および HCO-60 使用)
- 6) 試験液量： 80 mL／容器
- 7) 連数： 10容器／試験区
- 8) 供試生物数：10頭／試験区 (1頭／容器)
- 9) 試験温度： 20±1℃
- 10) 照明： 16時間明／8時間暗
- 11) 分析法： 高速液体クロマトグラフィー (HPLC)

結 果

1) 試験液中の被験物質濃度

試験液の分析の結果、測定値の設定値に対する割合が、 $\pm 20\%$ を超える値があったため、結果の算出には測定値の時間加重平均値を用いた。

2) 21 日間暴露後の結果

親ミジンコの半数致死濃度 (LC50) : 0.395 mg/L

(95%信頼区間 : 0.283~0.615 mg/L)

50%繁殖阻害濃度 (EC50) : 0.310 mg/L

(95%信頼区間 : 0.263~0.366 mg/L)

最大無作用濃度 (NOEC) : 0.112 mg/L

最小作用濃度 (LOEC) : 0.316 mg/L